

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	舞台総合演習	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	必修	時間数	120時間	
単位数	4単位				授業形態	実習	
教科書/教材	戯曲、朗読、発声等の資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	田中信也、いわいのふ、村松晴雄、山中誠也、細貝光司				実務経験の有無・職種	有・俳優	
学習目的							
この科目を受講する学生は、プロの声優・俳優になるための知識、台本の読解、技術を身に付ける事を目的とする。							
到達目標							
台本を読み、作品の世界、役の人物を理解し、一緒に演じる人達と稽古を重ねて共有して行き、台詞を覚えて喋り、動きを考え、一つの芝居を創り上げて行くことを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、コミュニケーション能力を高めるために、インプロ（ゲーム等）や色々なワークショップを行い感覚を広げて行く。又、声優・俳優としてやっていくための身体（発声・筋トレ等）を作って行く。 上記と並行して、戯曲を使用し作品を創り上げ、発表会を数回行って成果を確認する。						
注意点	声優・俳優としてやって行くには、コミュニケーション能力が大切なので、あいさつがしっかり出来るようになり、一緒にやる人達と積極的に話をし、稽古を重ねて行けるようにする。又、理由のない遅刻や欠席はしないようにする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	成果発表	50%	授業時間内に行われる発表にて評価				
	平常点	40%	欠席・遅刻、授業への取り組みで評価する				
	課題点	10%	課題への取り組みで評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	上記に＋台本を使用しての稽古			台本を読み、作品時代背景を理解して行く			
2回	上記に＋台本を使用しての稽古			台本を読み、キャラクターを理解して行く			
3回	上記に＋台本を使用しての稽古			台本を読み、キャラクタ間の関係性を理解して行く			
4回	上記に＋台本を使用しての稽古			台本を読み、作品を理解して行く			
5回	上記に＋台本を使用しての稽古			チーム分けをして、発表するメンバーで本読みしていく			
6回	上記に＋台本を使用しての稽古			チーム分けをして、発表するメンバーで本読みしていく			
7回	上記に＋台本を使用しての稽古			チームごとに粗立ち稽古をして行く			
8回	上記に＋台本を使用しての稽古			チームごとに粗立ち稽古をして行く			
9回	上記に＋台本を使用しての稽古			シーンごとに細かく何回も繰り返し稽古を行う			
10回	上記に＋台本を使用しての稽古			シーンごとに細かく何回も繰り返し稽古を行う			
11回	上記に＋台本を使用しての稽古			最初の通し稽古を行い、今後の課題を見つける			
12回	上記に＋台本を使用しての稽古			各々が課題点を中心に細かく稽古をして行く			
13回	上記に＋台本を使用しての稽古			通し稽古を行い、その後問題点を稽古する			
14回	上記に＋台本を使用しての稽古			通し稽古を行う。発表に向けての準備や確認			
15回	修了公演発表会			これまでの授業の成果を確認する			